

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	人間健康特講Ⅱ		
担当者(Instructors)	丸岡 利則	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業は、国際的にみて日本の社会保障・社会福祉がどのような特徴を持つのかを比較検討する。国際比較福祉の核心とは、広く世界に目を向け、高齢化率などの社会的状況にはじまり、制度概要や社会保障費を他の国と比較することによって、国際的視点から捉えた日本の社会保障・社会福祉の現状を理解できることにある。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	国際比較福祉の概念と対象範囲	【対面】国際比較福祉の意義と課題を理解する	<input type="checkbox"/>
第2回	国際比較福祉の理論的枠組み	【対面】社会政策、社会保障の国際比較の概念と制度体系を分析する	<input type="checkbox"/>
第3回	国際比較福祉のモデル	【対面】産業化論、社会民主主義モデル、ネオ・コーポラティズム論など比較福祉国家研究の理論枠組みを理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	国際比較福祉の福祉国家比較	【対面】福祉国家レジーム論の論点とその展開について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第5回	国際比較福祉と日本	【対面】国際比較福祉論における日本型福祉レジームに関する諸説を検討する	<input type="checkbox"/>
第6回	国際比較福祉研究のアプローチ	【対面】福祉国家の特徴と家族政策・少子化の国際比較研究について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第7回	国際比較福祉の条件	【対面】国際比較福祉における経済グローバル化が福祉国家に及ぼす影響と国際援助を理解する	<input type="checkbox"/>
第8回	国際比較福祉の課題	【対面】国際比較福祉論における「社会福祉の国際援助」の新たな方法を理解する	<input type="checkbox"/>
第9回	国際比較福祉の再編	【対面】「福祉国家論」における福祉国家体制再編期の社会保障等の制度改革を比較検討する	<input type="checkbox"/>
第10回	アジアの国際比較福祉	【対面】アジア諸国の福祉国家形成の過程と社会保障発展と福祉レジームの特徴について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第11回	アメリカ・ヨーロッパの国際比較福祉	【対面】アメリカ・ヨーロッパの貧困・社会的排除対策について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第12回	北欧の国際比較福祉	【対面】北欧型福祉国家の実際と今後の方向について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第13回	韓国の国際比較福祉	【対面】高齢者ケアの国際比較研究の方法と結果を理解する	<input type="checkbox"/>
第14回	介護保険の国際比較福祉	【対面】高齢者ケアの国際比較研究の方法と結果を理解する	<input type="checkbox"/>
第15回	国際比較福祉と社会政策	【対面】国際比較における「国際社会保障」から「グローバル社会政策」へと向かう理論と政策の展開を理解する	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

1. 新聞記事などで国際比較としての社会福祉問題を理解しておくこと(2時間) 2. 新聞やニュースで国際比較福祉について問題意識を高めること(2時間)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出したレポートは、添削・採点の上返却する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	国際比較福祉に関する制度や政策の概要の全体像が明確に把握できる。
主体性	◆ 2019人間健康DP3	国際比較福祉から多様な価値観を理解し、自発的に人々と協働し、地域貢献ができる。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

レポート課題4回 (60点) と最終課題レポート1回 (20点) を提出すること

■テキスト (Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	西村周三ほか編著『社会保障の国際比較研究』ミネルヴァ書房	
2	厚生労働省『世界の厚生労働 (海外情勢報告)』	
3		
4		
5		